



「聖家族」Joseph Paelinck(ベルギー、1820年、Public Domain)

全免償のチャンス

昨年(2021年)から7月第4日曜日は「祖父母と高齢者のための世界祈願日」とされています。7月26日の聖マリアの両親聖ヨアキムと聖アンの記念日に近い主日に祝われるこの祈願日にあたって、バチカン内教院は次のような教令を先日発表しました。

コがバチカンで主宰する荘厳な式典、あるいは世界中で行われるさまざまな行事に参加する祖父母と高齢者として、すべての信者に全免償を与えます。この全免償は、煉獄の靈魂のためにゆるすることもできます。……また、この日に適切な時間を割いて、困っている、あるいは困難な状況にある高齢の兄弟姉妹(病人や孤独な人、障がい者など)を直接またはメディアを通じて訪問する信徒に、全免償を与えます。

天国の聖人たちの功德によつてすべて免除するものです。よく誤解されますが、罪のゆるし(免罪)ではありません。だからこそ、条件としてゆるしの秘跡にあずかる必要があります。ゆるしの秘跡は司祭から受ける必要がありますので、この教令の最後には次のような依頼が記載されています。

教会の鍵の力によつて神の恵みを得るこの機会が、司牧的慈善によつてより容易に実現されるように、内教院は、ゆるしの秘跡を聞く権能を備えた司祭たちが、進んで寛大な精神でゆるしの秘跡を聞くよう、強く要請します。

高齡者は木の根

教皇フランシスコは、今年の2月から毎週水曜日の一般謁見の際に「老齡期についての連続講話」を始められました。その第1回でこう述べられました。

若者は高齡者と話すべきですし、高齡者も若者と話す必要があります。その対話の橋を通して、人類の知恵が伝わっていきます。……家庭、社会文化、両方において、高齡者は木の根のようなものだといふことを忘れないでいましょう。高齡者には今までの歴史があるのです。そして、若者はその花であり実のようなものです。樹液の一滴一滴が、根から上がってこなければ、花や実が豊かに実ることはないでしょう。わたしが何度も繰り返し述べている次の詩を忘れないでください。「木が花をつけるのは、地中の部分があるからです」(フランシスコ・ルイス・ベルナルデス)。社会が持つあらゆる美しいものは、高齡者の根に関連があるのです。

具体的な行動を

聖母月の司祭納骨式

甲山墓参

5月25日10時半より甲山墓園で、帰天された教区司教・司祭および納骨者のために追悼ミサがささげられた。今年は神林宏和神父、後藤進神父、西山俊彦神父、三竹洋一神父の4人の司祭の納骨式も行われた。コロナ禍で3年ぶりとなった墓参の野外ミサは晴天に恵まれ、司祭20人と約100人の参列者が帰天司祭の安息を祈った。

墓参——生きている人間が、先に逝った方々に対して行うごく当たり前の礼儀だが、今回3年半ばを経て、4人の司祭たちを甲山に葬ることができた。2019年の終わり頃から激しい勢いで地上を占領していったあのウイルスに我々はただ驚くばかりだったが、こうしてこの日を迎えたことで、日常を取り戻しつつあることを感じた。故人司祭それぞれとの思い出をもつ司祭たちと、感謝の念を込めて朝から集まった人びとと共に祈ることができた。

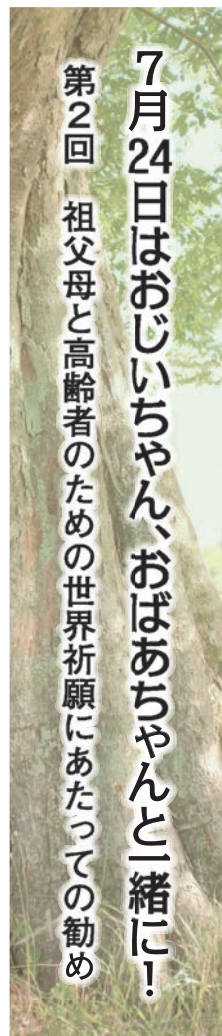
主司式の前田万葉大司教が詠まれた句の一つは「聖五月生さるも死ぬも神のもの」。すべてを神にささげる司祭職という厳かな神秘に対して、神への感謝と、司祭たちへの自戒をうながした。帰天司祭のご遺骨が入った白布袋は大司教の手から墓園の職員に渡され、地下へと運ばれた。地上での長旅を終え(大阪カテドラルの納骨堂でのしばしの休憩も含め)、我々の傍にいた4人の司祭たちはこれで本格的な安息に入られたであろう。派手で目立つものを人びとが欲しがるときの時世、土に埋まっている宝のような「司祭職」の値打ちに、見る目のある人は気付くはずだ。

聖母月も終わり間近、心の中でロザリオの祈りをささげながら帰ってきた。お休みなさいませ、先輩方！

(事務局長 チェジュヨン 崔周永神父)



祭壇前に置かれた4人の帰天司祭の遺影



7
2022

発行所
大阪府中央区玉造2-24-22
カトリック大阪大司教区
広報委員会
郵便番号 540-0004
TEL (06) 6941-9700(代表)
TEL (06) 6946-3223(直通)
FAX (06) 6946-3224(直通)
E-mail: jho@osaka.catholic.jp
編集 広報委員会
発行人 前田万葉

本紙
「点訳版」「音訳」
あります。〈無料〉
※ご希望の場合は
下記まで申込み
「点訳版(点字本)」
時報 ☎06-6946-3223(直通)
☎06-6946-3224(直通)
「音訳(テープ・ディジー)」
山口さん ☎0798-34-4228

☆ 2022年春 小教区・プロック司牧担当者など一覧 (2画)
☆ 司牧者から若者たちにこの一冊 ラジオ「信仰の時間」山口武史神父 (3画)
☆ イエスにならう生き方を求めて (4画)
☆ 新しくなる典礼 ☆ カテキズムの学び ☆ 生きる一難民移住者 (5画)
☆ 2021年度教区会計報告 (6画)
☆ jho@osaka.catholic.jp

『時報』原稿・資料等の締切は前々月末です。

皆さんは、ぜひ自分の家族や教会の高齡者や病者の方を訪ねて、パソコンやスマホからこの配信に参加してください。たとえば、おじいちゃん、おばあちゃんの教会に行つて一緒にミサに出る。
● お昼ご飯をいっしょに食べる。
● 2時からライブ配信で一緒にロザリオを祈る。
はいかがでしょうか？

他の条件を満たせば全免償を得ることができますが、そのためにするのではなく、今回をスタートとしてこれからも高齡者との関わりを続けましょう。そうして教会という木が大きく成長していくことができます。
(文 酒井俊弘補佐司教)

ライブ配信視聴



信仰の時間
ABCラジオ
(朝日放送)
AM1008/FM93.3
毎週日曜日
5:50~6:00AM
朝一番、祈りのひとときをもちませんか
7月担当: ヌノ・デ・リマ 神父
スマホアプリのradiko(ラジオ)でも聴くことができます。

有償ボランティア
事務局員募集
詳しくはホームページをご覧ください。
https://yurikago.site
理事長 人見 滋樹
(元カトリック医師会会長)
認定NPO法人
こうのつりのゆりかご in 関西

2022年春 地区長・委員長・
小教区・ブロック司牧担当者一覧

教区の皆様

2022年 5 月26日

大司教 前田万葉



地区長・委員長について

†主の平和

街路樹の若葉はすっかり生えそろう、緑が一層深くなってまいりました。コロナウイルス感染症への対策は生活に根付き、新しい生活様式の中で徐々に感染拡大前の生活を取り戻そうとしています。

さて、2022年 6 月1日～2024年 5 月31日迄を任期とする地区長と委員長及び担当者を発表いたします。新しい地区長や委員長のもとで、それぞれの活動を充実させ福音宣教に務めていただきますようお願い申し上げます。

新しく地区長と委員長及び担当者になれる神父様方、どうぞよろしくお願いいたします。

地 区 長

和歌山地区	パウロ・セコ	北 摂 地 区	野田 正弘
岸和田地区	イポリト・ヴィダ	阪 神 地 区	かずこし びん 和越 敏
大阪南地区	酒井 淳	神 戸 地 区	あか ぼ え 赤波江 豊
大阪北地区	長崎 壮	姫 路 地 区	大久保 武

大阪教区事務局・委員会等担当一覧

(任期：2022年 6 月 1 日～2024年 5 月31日)

委員会・窓口・施設長・担当者			責任者	
福音化本部			部 長	前田 万葉
	教区宣教司牧評議会運営委員会		担 当	大久保 武
	新福音化委員会		委員長	ヌノ・デ・リマ
	教区本部事務局	事務局	局 長	崔周永 ^{チュウジュウヨン}
		教区監査チーム担当	担 当	川邨 ^{かわむら} 裕明・山本 英明
		サクラ ファミリア	施設長	松浦 信行
		カーザ ファミリア	施設長	春名 ^{はるな} 昌哉
	広報委員会		委員長	川邨 裕明
	セクシュアル・ハラスメント対応委員会		委員長	松浦 信行
	災害対策委員会		委員長	崔周永
	一粒会委員会		担 当	上田 憲 ^{けん} ・竹延 ^{たけのぶ} 真治
	新司祭・神学生養成委員会		委員長	赤波江 ^{あかばえ} 豊
大阪セミナリオ		担 当	上田 憲	
教会福音化部門			部門長	酒井 俊弘
	典礼委員会		委員長	野田 正弘
	列聖推進委員会		委員長	春名 昌哉
	使徒職養成委員会		委員長	パウロ・セコ
	国内移動者委員会		委員長	赤窄 ^{あか せう} 富夫
	カトリック教育推進委員会		委員長	高畠 ^{たかばたけ} 政行
	諸宗教対話委員会		委員長	ロッコ・ビビアーノ
	エキュメニズム委員会		委員長	ロッコ・ビビアーノ
	青少年司牧委員会		委員長	春名 昌哉
社会福音化部門			部門長	酒井 俊弘
	障がい者委員会		委員長	石井 望
	日本カトリック正義と平和協議会		担 当	松浦 謙
	カリタスジャパン		担 当	松永 敦
	日本カトリック難民移住移動者委員会		担 当	松浦 謙
	部落差別人権委員会		担 当	長崎 壮
	外国語司牧		責任者	ワユディ・デンニ
		英語	担 当	アルマンド・ロメロ
		ベトナム語	担 当	グエン・シン・サック
		インドネシア語	担 当	ワユディ・デンニ
		ポルトガル語	担 当	イポリト・ヴィダ
		韓国語	担 当	安旻祐 ^{アンミンウ}
船員司牧		担 当	エリック・パウチスタ・デ・グスマン	

ブロック・小教区司牧担当者一覧

(6月16日現在、Bはブロックの略)

姫路地区	姫路西B	Fr.大久保 武は担当 Fr. アンドレ・コレーンはブロック協力	大阪北地区	梅 田 B	Fr.松浦信行、Fr.エリック・パウチスタ・デ・グスマンは共同 Fr.赤波江謙一、Sr.吉住映利子は協力 Sr.エンシソ・アルダナ・グロリア〈大阪梅田〉は協力
	姫路中B	Fr.ジュドネ・トンバ・ディパは主任〈姫路・佐用〉 Fr.ルドビカス・ゴーセンスは主任〈仁豊野・生野分教会〉 Fr.赤波江 豊は小教区管理者〈豊岡〉 Fr.赤窄富夫は協力		しろきたB	Fr.ハイメ・シスネロス、Fr.竹延真治、Fr.グエン・バン・ナンは共同〈今市・大東・門真〉
	姫路東B	Fr.アルマンド・ロメロは主任〈加古川〉		河 北 B	Fr.昌川信雄は主任、Fr.タラン・スン・ニュ・イは助任〈香里〉 Sr.高橋由美子は協力〈香里〉 Fr.長崎 壮は主任 Fr.フリオ・トーレス、Fr.梅崎隆一は協力〈枚方〉
		Fr.ブレイズ・ブインガ、Fr.レネ・バシト・カンデラリアは地区協力			
神戸地区	神戸西B	Fr.高橋 聡、Fr.林 和則、Fr.ジェラルール・グイノは共同 Fr.中川 明は協力	大阪南地区	阿 倍 野 B	Fr.山本英明は主任〈阿倍野〉 Fr.酒井 淳は主任〈平野・大阪田辺〉 Fr.中野正勝は協力〈平野〉 Fr.チョン・ディン・ハイは主任〈藤井寺〉
	神戸中B	Fr.安旻祐〈担当：鈴蘭台〉、Fr.松永 敦〈担当：兵庫・たかとり〉は共同 Fr.神田 裕〈担当：三田〉は協力		堺 B	Fr.高畠政行、Fr.春名昌哉、Fr.ジャンマリー・カゼンガは共同 Sr.ファム・ティ・テウイ・キョウは協力
	神戸東B	Fr.コンスタンシオ・コンサルタ、Fr.赤波江 豊は共同〈神戸中央・住吉〉 Fr.ジェローム・パダモ・サルトノ、Fr.金台根は協力〈神戸中央・住吉〉 Fr.英 隆一朗は主任 Fr.中村健三は助任 Fr.増井 啓は協力〈六甲〉		かわちB	Fr.上田 憲は主任〈布施・枚岡〉、Fr.崔周永は主任〈八尾〉
				み な と B	Fr.松浦 謙は主任 Sr.戸村晴美は協力〈住之江・なみはや〉
阪神地区	阪神夙川B	Fr.李昇 倫、Fr.エマニュエル・ポポンは共同〈夙川・甲子園〉 Fr.川邨裕明は主任〈芦屋〉	岸和田地区	玉 造 B	Fr.ヌノ・デ・リマは主任〈玉造〉 Sr.梶野芳子は協力 Fr.セサル・ポルメントは居住〈日本語研修〉〈玉造〉 Fr.中谷 功は主任〈生野〉
	阪神仁川B	Fr.グエン・シン・サックは主任〈宝塚〉 Fr.和越 敏は主任〈仁川〉 Fr.ヒラン・インディカ・ジャヤワルデナは主任〈伊丹〉		紀 泉 B	Fr.イポリト・ヴィダは主任
	阪神尼崎B	Fr.ヘスス・マリア・モラレスは主任〈武庫之荘〉 Fr.山口武史は主任〈園田〉 Fr.ジョヴァンニ・デリアは主任〈尼崎〉		い ず み B	Fr.村田 稔、Fr.ロムアルドウス・ジュアンは共同 Fr.フェリペ・デ・ヘスス・ロペス・オロッコは協力〈いずみB〉
北摂地区	北 摂 西 B	Fr.中村克徳は主任〈日生中央〉 Fr.ナザリオ・プラザは主任〈池田〉 Fr.野田正弘は主任〈豊中〉 Fr.矢野吉久は主任〈箕面〉	地和歌区山	りんくうB	Fr.フラビオ・ベスコは主任〈泉佐野〉 Fr.ワユディ・デンニは主任〈貝塚・熊取〉
		紀 北 B		Fr.パウロ・セコ、Fr.グエン・クォク・トゥアンは共同〈和歌山紀北〉	
	北 摂 東 B	Fr.清川泰司は主任〈高槻・茨木〉 Sr.橋本とも子〈高槻〉、Sr.深瀬聖子〈茨木〉は協力 Fr.香山 剛は主任〈千里NT〉 Fr.井田 明は主任〈吹田〉	紀 南 B	Fr.石井 望は主任〈紀伊田辺・御坊・龍神〉 Fr.ヨゼフ・プロデリックは主任〈新宮・串本〉	
			その他		Fr.パオロ・スックは大司教秘書および教区協力 Fr.朴起徳は日本語研修〈司教館〉



香里ヌヴェール学院 移転 90 周年記念式典

1921 年、フランスから来たヌヴェール愛徳修道会が玉造教会で始めた小さな語学学校は数年後、聖母女学院高等女学校となった。現在の寝屋川市に新校舎が建てられ、移転したのは 1932 年のこと。6 月 4 日、同校のベルナデッタ・ホールでこの移転 90 周年を祝う式典が催された。

記念ミサを司式した前田万葉大司教は「風薫る香里ヌヴェール卒業かな」、「仕合せの香里ヌヴェール聖五月」と祝い句を贈った。「学校法人聖母女学院」として聖母マリアの名をいただく同校が建学精神を改めて思い起こし、児童や生徒、教職員、保護者や地域の人びととさらに深い愛で結ばれ合うようにと願いをこめた。

式典には教職員の他、ヌヴェール愛徳修道会のシスターや同窓会、保護者会など関係者を含めおよそ 200 人が参列。児童・生徒たちは披露の場で、学校の歴史を振り返りつつ未来に向かおうとする様をさまざまに表現し、大司教はじめ参列者は熱心に鑑賞した。その後、大司教は新装オープンした食堂の祝福を行い、参列者と歓談しながらフランスのお菓子「クレームブリュレ」を堪能。学校関係者に励みを与える一日となった。

主催者の感想 記念式典を挙げるにあたり、前田大司教様をはじめ、教区本部事務局、香里教会の皆様にご大変お世話になりました。私たちにとって、教会と学校とが一致しながら



吹奏楽部の校歌演奏に聴き入る前田大司教

歩んでいることを改めて認識できた、記憶に残る素晴らしい式典となりました。皆様のご協力に心から感謝いたします。



シスター戸村晴美から
この二冊

司牧者がリレー形式で若者たちにぜひ読んでもらいたい書籍を紹介し、青年たちの読書感想文を掲載する連載。今回は、シスター戸村晴美（師イエズス修道女会、なみはや教会担当）が担当。



その 18

幼い頃、将来の自分がこんなに遠い所に住むようになるとは考えてもみなかった。ましてや「大阪カトリック時報」の原稿を書くなど思ってもみなかった……。人の生き方はそれぞれだといつも思う。生まれた時からずっと地元を離れたことがない生活を送る人もいれば、全く知らなかった町で生涯を終える人もいる。今まで多くの神父様方と接してきた。特に外国から宣教師として来られた神父様方が日本語に苦労しながらも、ニコニコと笑顔で話しかけてくださることに、こちらのほうがどれほど勇気づけられたことか。

この本は、「神」とは一人ひとりに合った不思議な方法で「語りかけられる神」だと教えてくれる。たしかに、情報だらけの今の世界では「語りかけられる神」の声を聴くことが難しいかもしれない。しかし、神の声は人を動かす。必ず動かす。「神の語りかけを聴いた」人びとのストーリーを読み、「神に動かされた人」の躍動的な喜びを共に体験してほしい。

『神様のカルテ』（夏川草介、小学館文庫、2011年、税込682円）



い。人間の話をしているのだ！」というキャッチコピーに惹かれ、思わず手に取ってしまった。

主人公とさまざまな登場人物が、失敗・成功・虚栄心・反省・努力そして人生のトラウマ……を抱えながら周囲との絆を紡ぎつつそれぞれの人生を生きている。絶対に「失敗」が許されない医療の現場で、限界のある「人間」が生きている。「良心に恥じぬということだけが、我々の確かな報酬だ」。所々に出てくるこの言葉が、時には励ましに、時には慰めに、時には皮肉に聞こえてしまう。著者は「一人ひとりに『神様が定めたカルテ』がある」という。作中に出てくる劇薬「砂山ブレンド」、いつか作ってみたいが、飲む勇気がない。そんなわたしからのおすすめの一冊。

次回は、中島貴幸神父（オプスデイレ属人区）です。



「信仰の時間」

ABC ラジオ(朝日放送)
毎週日曜日 5:50～6:00AM

5月担当：山口 武史 神父(園田教会)

やる気スイッチ（1日放送分より）



「やる気スイッチ」という言葉があります。教育系の企業コマーシャルで聞きます。全く勉強のやる気がない子どもの体にあるスイッチを押すと俄然やる気が出て、勉強に熱が入るというもの。そんな馬鹿なと思いつつも、指圧器を買ってきて体中くまなく押ししましたが、全く何も変わりませんでした。医学的にもやる気スイッチは存在しないとされていました。しかし、この会社の方針には「お子様の今の能力や性格に合わせた学習指導をします」と書かれていました。きっかけがあれば、学力は伸びるということでしょう。そう言えば、「小2の壁」があると聞きました。小2で習う九九につまずくと、授業が理解できなくなり、やる気がそがれることが多いらしいです。そのような

子どもきっかけさえあれば勉強嫌いになっていなかったかもしれません。きっかけって大切だと思わされます。

本日は復活節第3主日で、福音はヨハネ 21 章 1～14 節が朗読されました。弟子たちが復活の主・キリストにやる気スイッチを押してもらったようです。今日の福音は、弟子たちへの三度目の顕現を描いていますが、4つの軸があります。一つ目はシモン・ペトロの様子、二つ目は弟子たちのイエスに対する態度、三つ目は食べるものの有り無し、四つ目は網に起こる出来事です。

まず、「シモン・ペトロ」は仲間に「漁に行く」と宣言しますが、岸に立っている人がイエスだと教えられ、上着をまとい湖に飛び込みます。さらにイエスに従い、

大きな魚でいっぱいの網を引き上げる者になります。

次に「弟子たち」ですが、岸辺に立つ人物がイエスだとは分かりませんでした。しかし、イエスの愛しておられた弟子が主だと気づき、ついには誰もが主であると知ようになります。

「食べるもの」ですが、岸辺に立つキリストに尋ねられた時にはありませんでしたが、陸に上がった弟子たちには、パンと魚が用意されており、イエスが弟子たちに与えます。これは、今のミサに当たる祭儀を示していると思われます。

「網」については、岸辺に立つイエスの「舟の右側に網を打ちなさい」という指示に従うと思わぬ大漁が起これ、ペトロを除く弟子たちがその網を引いて戻りますが、魚でいっぱいの網は破れていなかった経験をしします。このような大漁は宣教の成果を描いているとされています。弟子たちは、宣教の業に励むことになりました。

やる気スイッチのことですが、今日の福音に登場する弟子は7人です。イスカリオテのユダは死亡しているので、4人足りません。

どうも宣教活動を止めていたみたい。残る7人もシモン・ペトロが漁に行くと言うと、残りの6人もついてゆきました。これは生活費を得るため仕方なかったという説もありますが、イエスが生きていた時はなかったことなので、元の仕事に戻ったり、バイトに出かけたりした者もいたというのが本当のところではないかと考えられています。

しかし、漁も失敗で、何もかもうまくいきません。そんな時、イエスと出会いますが、イエスだと気づきません。これはイエスの顕現物語の特徴です。そして、イエスはいろいろと教え、弟子たちはイエスだと気づきます。イエスが今も生きて、共にいてくれると分かり、やる気が出てきます。復活のイエスとの出会いが、弟子たちのやる気スイッチを押すことになりました。それによって弟子たちは、十字架と復活を頂点としたイエスの言葉と行いの上に立ち、外に向けてはそのイエスを告白し、内においては神への賛美と感謝を表す者になりました。そして、それが「教会」になりました。

和歌山県田辺市の戦跡

～「やましき沈黙」がもたらすもの～

「NHKスペシャル 特攻“やましき沈黙”」(2009 年放送) から

紀南ブロック担当司祭 石井望

紀伊田辺教会では地元の市民グループが主催する「ピースフェスタ」に教会として参加してきました。2012 年に赴任した石井望神父は、戦争体験者の証言が掲載された地元紙を読んだのがきっかけに関心をもった、紀伊田辺付近の戦跡を調べて地図に起こし、資料を作成、展示しました。その一部をご紹介します。

アジア太平洋戦争末期、昭和 19 年(1944)10 月に始まった「特攻」作戦。人間が兵器と一体化して敵に体当たりする生還の可能性のない攻撃作戦のことです。この作戦で戦死した将兵は 5000 人以上、そのほとんどが 20 代でした。かつて「特攻」は将兵たちの熱意から志願して生まれたと伝えられてきましたが、実はそれより 1 年以上前から軍の内部で組織的に計画されていた事実が、「海軍反省会」の記録から判明しました。多くの将校が間違いと知りながらこの作戦を黙認した責任も明らかになりました。ある将校はこれを「やましき沈黙」と呼びました。このことを伝える NHK 番組のキャスターは、これは過去の話ではなく、組織が過ちを犯そうとしていると知りながら、有力者に忖度したり自己保身のために黙認しがちな今の私たちを戒めるものだ、という趣旨の言葉で締めくくりました。

私は 2012 年に和歌山県南部の紀伊田辺教会に転任し、毎年 8 月に地元の市民グループが主催する「ピースフェスタ」に教会として参加するようになりました。また、高齢化していく戦争体験者、証人の言葉を地元紙が連続掲載するのを読んだことがきっかけで、田辺近辺の戦跡に関心を持ち、調べ始めました。市の歴史民俗資料館では戦跡に関してはほんのわずかな展示しかなく、特に「特攻」に関係する「田辺海兵団」や「震洋基地」「桜花基地」計画などは、関心のある人以外はほとんど知らないようです。「負の歴史」は隠されて忘れさせられるのだろうかと思うほどでした。「負の歴史」をどう受け止めるかは、過去の出来事に関する問題ではなく、今の私たちの問題、生きる姿勢の鑑のようなものだと感じます。そして「過去を振り返ることは将来に対する責任を担うことです(教皇ヨハネ・パウロ 2 世、広島『平和アピール』1981 年)」と。下の戦跡地図は、現地に案内表示や説明板のないものがほとんどです。

アジア太平洋戦争末期に本土決戦、特に大阪・神戸への米軍艦船を迎撃するために串本、周参見、田辺、由良(白崎の回天基地)、紀淡海峡など、紀伊水道の要所に新たな軍事施設が計画された。

田辺にはそのような時期の「特攻」に関連する施設建設が多く計画された。

● 田辺海兵団: 1945 年 2 月 1 日に大阪海兵団(海軍初年兵の養成所)の分団として開団した。日本 14 団中で最後に設置された海軍特別志願兵に応募する日本人の不足を補うために、朝鮮半島・台湾出身者 16 歳以上に募集枠を拡大した。入団者 3000 人のうち、台湾出身者 100 人、朝鮮半島出身者が 800 人を占めた。同年 5 月 1 日には田辺海兵団に昇格独立、同 25 日には本土決戦に備えて防衛基地の役割を担う田辺警備隊となり、さらに 6 月 1 日には第六特攻戦隊が編成された。B29 の来襲爆撃が相次ぐため、初年兵養成教育機関としてはほとんど機能しなくなったという。7 月 28 日には海兵団兵舎の十数棟が消失、約 30 人が死亡した(海兵団跡は終戦後に南方から関西方面に帰還するための引揚港となり、引揚援護局として使用され 22 万人が利用した)。

● 公共施設等の接收と軍の駐屯: 軍事特別措置法の施行により、各国民学校、寺院などが接收され、特攻基地建設や迎撃のために海兵団の兵士や陸海軍の部隊が 50 人から数百人ずつ駐屯するようになった。人口数万人の田辺近辺に配備されたのは、田辺海兵団、警備隊、特攻隊傘下の兵士だけで 20,000 人に上った。

✖ 特攻基地計画①: 田辺湾を望む小高い丘には、敵艦に向けて「桜花」(人間爆弾)を発射するカタパルト基地約 10 か所が計画された。大坊、稻成、万呂、三栖(衣笠山)、上秋津、下秋津、朝来(西山)、生馬、岩田、岡など、小学校の沿革史に基地建設工事のための軍隊の駐屯が記録されている。

イエスになろう生き方を求めて

悩みを持つ人々の痛みに寄り添い、
その悩みを少しでも分かち合うことのできる
教会共同体をめざして

日本カトリック司教団著「いのちへのまなざし」
増補新版より

✖ 特攻基地計画②: 爆弾を船首に装備したヘニヤ板製のボートに兵士 2 人が乗り込んで艦船に体当たりする「震洋」嵐基地。フィリピンや沖縄戦では 2000 人以上が戦死した。現在は「鳥の巣平和公園」として整備され「震洋」のレプリカが展示されている。

☆震洋鳥の巣平和公園
〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3821

いずれの特攻基地建設も未完成のまま終戦を迎えたので「幸い」実戦に使われなかった。

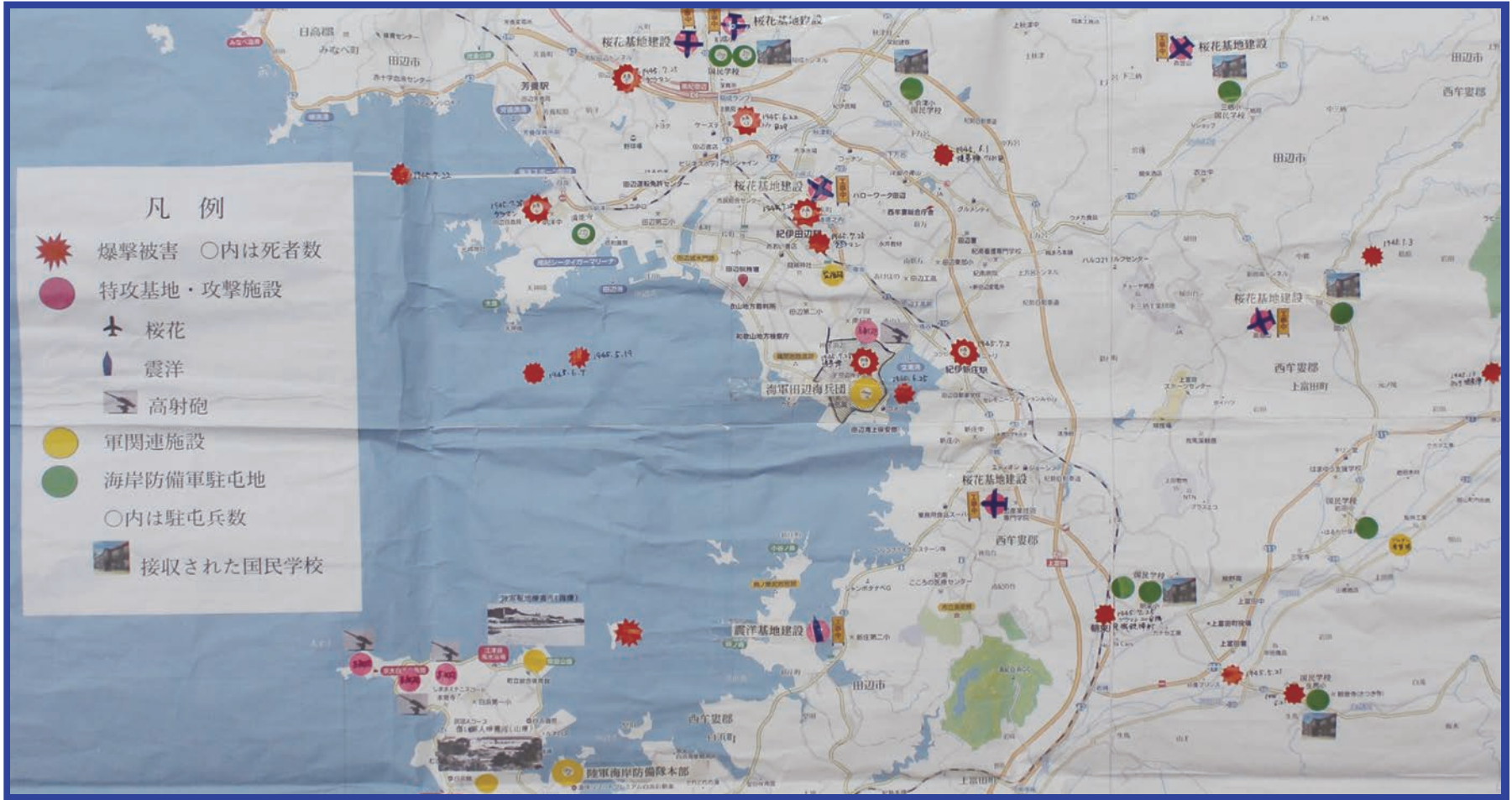
✖ 南太平洋の米軍基地から日本本土の上空に戦闘機・爆撃機がアクセスするために紀伊半島上空のルートが多く使われた。和歌山県南部には阪神間や和歌山市などへの爆撃を終えて南洋基地へ帰還時に機体を軽くするために爆弾が投下(投棄)された。「臨機目標」となったのは、軍隊関係や輸送設備だけではなく一般施設やカツオ漁船などが含まれる。

《参考資料》
『紀伊民報』2014 年 8 月 16 日記事ほか
『田辺市史』、『上富田町史』、『白浜町史』
中村隆一郎著『続・和歌山県の空襲聞き書き拾遺』東方出版 2000 年
伊勢田 進著『田辺の海兵団小史』・『田辺海兵団神子浜一体験・追憶記』
古久保健著『轟音—B29 墜落の記』2006 年、『轟音—その後』2016 年
中央評論『日本全国 B29 慰霊碑物語』2017 年、『続編』2018 年

*問い合わせ: 石井望神父(紀伊田辺教会)
E-mail: isnozomi@gmail.com

紀南の戦跡

< 田辺海兵団 / 特攻基地建設 / 海岸防備隊駐屯地 / 爆撃・戦災 >





「カテキズムの学び」

第35回「盗んではならない」(後半)



5月26日に十戒の第7の掟である「盗んではならない」の後半を学びました。講座の様子は上のQRコードから視聴できます。

「盗んではならない」という掟は、盗みを禁じるだけではありません。第6項「貧しい人々への愛」では、貧しい人々を助けることは「良いこと」ではない、とカテキズムは教えます。もちろん「悪いこと」ではありませんが、それは「当たり前のこと」、いえそれ以上に「やるべきこと」だということです。そのことを、二人の聖人の言葉を引用して説明しています。

聖ヨハネ・クリソストモは、このことを厳しいことばで次のように述べています。「自分の財産を貧しい人々に分かち与えないとすれば、それは貧しい人々のものを盗むことになり、彼らの生命を奪うことになります。わたしたちが持っている物はわたしたちのものではなく、貧しい人々のものです」。(2404番)

「貧しい人々に何かに必要な物を与えるとき、わたしたちは自分のものを寛大に与えているわけではありません。彼ら自身のものを彼らに返しているだけです。そのときには、愛の行為を果たしているというよりも、正義の義務を果たしているのです」(聖グレゴリオ1世)(同)

クラスの最後に『カテキズム要約』が述べる14の慈善のわざを紹介しました。

【七つの身体的な慈善のわざ】

1. 飢えている人に食べさせる。
2. 渴いている人に飲み物を与える。
3. 着る物をもたない人に衣服を与える。
4. 宿のない人に宿を提供する。
5. 病者を訪問する。
6. 受刑者を訪問する。
7. 死者を埋葬する。

【七つの精神的な慈善のわざ】

1. 疑いを抱いている人に助言する。
2. 無知な人を教える。
3. 罪人を戒める。
4. 悲嘆にうちひしがれている人を慰める。
5. もろもろの侮辱をゆるす。
6. 煩わしい人を辛抱強く耐え忍ぶ。
7. 生者と死者のために神に祈る。

慈善のわざのどれかを毎日実践できれば、まことのキリスト者と言えるでしょう。(文 酒井俊弘補佐司教)

新しくなる典礼④「ミサ」が変わってしまうの？

『新しい「ミサの式次第と奉献文」の変更箇所』

～ 2022年11月27日(待降節第1主日)からの実施に向けて ～



「ミサ」が変わるということではなく、「ミサの式次第と奉献文」のことばや所作が変わるところがあることがわかりましたね。それでは、式次第に沿って、「ことばの典礼」の確認をしましょうね。



朗読奉仕の時のことばや所作が、これからは日本中で統一されるのね。

【ことばの典礼】

1. 第一朗読、第二朗読

朗読者は、朗読が終わると、朗読の終わりを示すため、**手を合わせてはっきりと「神のみことば」と唱えます。**

朗読者：**神のみことば。**

会衆：神に感謝。

朗読者は**聖書に一礼**して席に戻ります。

その後、一同は沈黙のうちに神のことばを味わいます。

2. アレルヤ唱(詠唱)

3. 福音の崇敬と朗読

司祭：主は皆さんとともに。

会衆：また**あなた**とともに。

司祭：○○○による福音。(そのとき、朗読福音書、額、口、胸に十字架のしるしをします)。

(会衆も、司祭と同時に、額、口、胸に十字架のしるしをして)

会衆：主に栄光。(はっきりと唱えます)。

福音朗読が終わると、司祭は朗読福音書を両手で掲げてはっきりと唱えます。

司祭：**主のみことば。**

*福音朗読が主キリストのことばであることを明確にするため、「**主のみことば**」と訳し、第一(第二)朗読後の「**神のみことば**」と区別しています。

会衆：キリストに賛美。

4. 説教

すべての主日と守るべき祝日には、司祭あるいは助祭によって説教が行われます。他の日にも勧められています。

5. 信仰宣言

すべての主日と祭日、および盛大に祝われる特別な祭儀に、一同は「ニケア・コンスタンチノーブル信条」、あるいは「使徒信条」を歌うかまたは唱えて信仰宣言を行います。

*「ニケア・コンスタンチノーブル信条」でも「使徒信条」においても、**キリストの受肉の神秘について述べる部分で、一同は礼をすることが明記されました。**

(文・絵 大阪教区典礼委員会)



訃報



Sr. ベルナデッタ 菅原由紀子(パリミッシェン女子会)は5月12日、老衰のため仁豊野ヴィラにて帰天。83歳。中国北京出身。奉獻生活56年。

1966年、同会入会。修練期を大阪で一年過ごした後、さいたま教区内で司牧に携わり、特に80年代のインドシナ難民を受け入れていた群馬県前橋市の「あかつきの村」でベトナム難民の生活支援に従事した。

2014年に仁豊野ヴィラへ転居して療養を続けた。亡くなる一時間前まで職員

大阪教区のカトリック病院 ガラシア病院

特徴的な医療

ホスピス(緩和ケア)
リハビリ・神経内科
肝臓内科・循環器内科

医療法人ガラシア会

理事長 前田万葉 大司教
チャレン 松本信愛 神父

㊦ 562-8567
箕面市栗生間谷西 6-14-1
☎ 072-729-2345

医療法人ガラシア会



「生きる」難民移住者

谷間に置かれた人びとの心を生きるアリさん

いまアフガニスタンからイランに逃れた難民は80万人と言われます。

アリさんは、かつてシナピスがアフガニスタンを視察した時の通訳兼ボディガードとして働いてくれた恩人です。彼も妻と6人の子どもを抱えてイランに避難しました。アリさんがシナピスに縁のある人とはいえ、特定の一族だけを援助する予算はありません。



イランにたどり着いた避難民

日本からのカンパだけが命綱だから、そこから周囲の人びとや現地に残る親戚の子どもたちにも分配

笑顔もない女性と子どもたち。「この人たちは昨日アフガニスタンから着いたばかり。このお婆さん、病氣、葉ない。子ども、おなかすき過ぎて声出ない」。私はどれくらい

の援助が必要なのか尋ねました。「今すぐ助けないと危ない人が22家族。40万円あったら命、助かる」。今すぐ40万円。私は天を仰ぎました。

その翌日、不思議な出来事がありました。名も知らぬ方が「祈っています」と

ある時、アリさんにイランでの生活状況を尋ねたところ、

「生きていることが分かりました。自分たちだけが食べるのは我慢できないからです」と言っていて、アリさんは外へ出かけて

「祈っています」と

文シナピス事務局

ビスカルド篤子

大阪大司教区 2021年度小教区会計収支計算書

〔収入の部〕

単位：円 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

科 目	教区小教区合計	(%)	修道会小教区合計	(%)	小教区総計	(%)
経常収入の部	825,524,441	36.3	137,252,176	48.8	962,776,617	37.7
信徒通常献金収入	287,039,359	12.6	63,563,819	22.6	350,603,178	13.7
教会維持献金	221,779,652		48,979,750		270,759,402	
ミサ聖祭献金	44,735,493		9,275,630		54,011,123	
大祝日(特別)献金	20,524,214		5,308,439		25,832,653	
特定献金収入	40,133,978	1.8	7,704,426	2.7	47,838,404	1.9
世界こども助け合いの日献金	1,516,214		283,411		1,799,625	
聖地のための献金	655,525		294,250		949,775	
四旬節愛の献金	3,563,830		513,009		4,076,839	
世界広報の日献金	92,791		0		92,791	
聖ペトロ使徒座への献金	1,253,496		311,334		1,564,830	
世界難民移住移動者の日献金	423,399		78,217		501,616	
世界宣教の日献金	1,221,890		311,877		1,533,767	
宣教地召命促進の日献金	1,272,665		255,982		1,528,647	
一粒会献金	25,765,222		4,537,050		30,302,272	
新教会建設献金	518,779		111,189		629,968	
カンボジア教会の日献金	1,130,235		278,841		1,409,076	
すべてのいのちを守る献金	2,719,932		729,266		3,449,198	
特別献金収入	208,531,361	9.2	63,077,119	22.4	271,608,480	10.6
祭式献金	56,333,480		9,809,162		66,142,642	
一般特別献金	39,349,984		13,181,042		52,531,026	
営繕献金	36,022,965		20,257,157		56,280,122	
建設献金	66,585,042		15,334,400		81,919,442	
墓地納骨堂建設献金	158,000		1,970,000		2,128,000	
特別事業献金	3,124,694		2,525,358		5,650,052	
共同司牧収入	6,957,196		0		6,957,196	
助成金収入	255,062,199	11.2	0	0.0	255,062,199	10.0
教区助成金	255,062,199		0		255,062,199	
修道会助成金	0		0		0	
納骨堂等収入	22,478,795	1.0	1,276,000	0.5	23,754,795	0.9
非課税永代使用料収入	7,427,000		340,000		7,767,000	
課税永代使用料収入	2,692,800		0		2,692,800	
管理料収入	10,666,295		36,000		10,702,295	
その他納骨堂等収入	1,692,700		900,000		2,592,700	
補助活動収入	2,450,711	0.1	514,625	0.2	2,965,336	0.1
行事収入	42,971		0		42,971	
受託販売手数料収入	99,892		74,928		174,820	
課税事業収入	1,386,897		8,473		1,395,370	
非課税事業収入	920,951		431,224		1,352,175	
雑収入	1,410,663	0.1	33,861	0.0	1,444,524	0.1
課税雑収入	995,019		33,861		1,028,880	
非課税雑収入	415,644		0		415,644	
事業収入	8,417,375	0.4	1,082,326	0.4	9,499,701	0.4
受取利息配当金	2,776,983		1,082,326		3,859,309	
施設利用料収入	5,640,392		0		5,640,392	
財務収入の部	595,015,247	26.2	2,866,456	1.0	597,881,703	23.4
固定資産収入	492,631,571	21.7	2,371,280	0.8	495,002,851	19.4
車両売却収入	0		0		0	
器具備品売却収入	0		0		0	
電話加入権売却収入	0		0		0	
積立保険金償還収入	0		0		0	
特別目的預金取崩収入	259,631,571		2,371,280		262,002,851	
本部預け金返還収入	233,000,000		0		233,000,000	
固定負債収入	54,000,000	2.4	0	0.0	54,000,000	2.1
長期借入金収入	54,000,000		0		54,000,000	
その他の財務収入	48,383,676	2.1	495,176	0.2	48,878,852	1.9
未収入金収入	0		0		0	
立替金回収収入	594,683		13,860		608,543	
仮払金回収収入	45,474,902		471,083		45,945,985	
短期借入金収入	0		0		0	
預り金収入	1,638,506		10,233		1,648,739	
仮受金収入	675,585		0		675,585	
資金調整勘定	0	0.0	0	0.0	0	0.0
期末未収入金	0		0		0	
収入計	1,420,539,688	62.5	140,118,632	49.8	1,560,658,320	61.1
前期繰越金	853,174,950	37.5	141,394,184	50.2	994,569,134	38.9
収入の部合計	2,273,714,638	100.0	281,512,816	100.0	2,555,227,454	100.0

〔支出の部〕

科 目	教区小教区合計	(%)	修道会小教区合計	(%)	小教区総計	(%)
経常支出の部	745,407,450	32.8	97,616,971	34.7	843,024,421	33.0
宣教司牧費	57,585,210	2.5	12,067,439	4.3	69,652,649	2.7
祭司儀費	20,303,920		5,085,782		25,389,702	
司牧費	723,377		215,002		938,379	
委員会活動費	1,033,065		283,572		1,316,637	
宣教広報費	1,017,631		73,535		1,091,166	
宣教育成費	174,268		35,998		210,266	
養成費	2,203,994		512,043		2,716,037	
青少年育成費	2,010,624		625,256		2,635,880	
新聞図書費	6,303,952		1,015,051		7,319,003	
新会議費	1,305,705		329,670		1,635,375	
慶弔費	2,069,001		323,291		2,392,292	
援助費	10,824,368		3,166,839		13,991,207	
諸会費	283,900		5,400		289,300	
共同司牧費	9,331,405		396,000		9,727,405	
特定献金支出	40,387,409	1.8	7,727,656	2.7	48,115,065	1.9
世界こども助け合いの日献金	1,531,214		283,411		1,814,625	
聖地のための献金	660,525		294,250		954,775	
四旬節愛の献金	3,563,830		531,809		4,095,639	
世界広報の日献金	104,791		0		104,791	
聖ペトロ使徒座への献金	1,258,496		311,514		1,570,010	
世界難民移住移動者の日献金	443,399		78,217		521,616	
世界宣教の日献金	1,221,890		311,877		1,533,767	
宣教地召命促進の日献金	1,272,665		255,982		1,528,647	
一粒会献金	25,916,653		4,537,050		30,453,703	
新教会建設献金	533,779		111,189		644,968	

教区会計決算報告

2021年度カトリック大阪大司教区決算は、5月24日(火)の責任役員会にて承認されました。

【小教区会計について】

2022年3月末の現預金残高は、約21億1,400万円(前年比1億4,700万円減)となりました。資金の減少の要因は、新聖堂建て替え工事が実施されたこと、第4回資金プール制が償還し、第9回資金プール制で新たに7,100万円の増額があった影響が考えられます。コロナ禍前の2018年度と比べますと、信徒通常献金1億1,990万円減少となり、献金内訳は、教会維持献金57,280万円減、ミサ聖祭献金58,640万円減、大祝日献金399万円の減少になりました。小教区財政は信徒全員で支えることを皆さんにご理解いただき、納付世帯数を増やすことなども考慮していただきたいと思います。

【一粒会会計について】

この資金収支計算書は5月21日(土)、一粒会委員会で承認されました。献金収入は3,113万円(前年比254万円減)となり、2021年度は養成費として神学生3人の教育費、運営分担金(神学院費用)など、3人の司祭の日本語学校の費用に使われました。また養成援助費として、教区内の6宣教会・修道会の神学生の支援などを行い、仁豊野ヴィラの設備改修工事費を援助いたしました。単年度では516万円の黒字になりましたが、コロナ禍でベトナム人神学生2人(ベトナムの神学校にて勉強中)が日本に入国できず、帰阪交通費・滞在費用の支出はありませんでした。今後も司祭の召命を求める祈りと献金をよろしくお願いいたします。

(教区本部事務局 経理課)

科 目	教区小教区合計	(%)	修道会小教区合計	(%)	小教区総計	(%)
カンボジア教会の日献金	1,135,235		278,841		1,414,076	
すべてのいのちを守る献金	2,744,932		733,516		3,478,448	
納付金支出	456,514,187	20.1	34,049,000	12.1	490,563,187	19.2
教区納付金(A)	28,624,000		6,340,000		34,964,000	
教区納付金(B)	130,496,000		25,609,000		156,105,000	
教区納付金(C)	25,992,119		0		25,992,119	
教区納付金(D)	15,550,240		0		15,550,240	
修道会納付金支出	722,000		2,100,000		2,822,000	
建設分担金支出	255,129,828		0		255,129,828	
運営管理費	185,964,497	8.2	43,519,129	15.5	229,483,626	9.0
雑福利給与	6,476,394		7,813,701		14,290,095	
福厚生費	94,100		138,886		232,986	
事務印刷費	5,998,411		1,290,241		7,288,652	
リース料	9,902,109		1,785,814		11,687,923	
消耗品費	8,816,659		4,451,125		13,267,784	
通信費	13,075,434		2,056,830		15,132,264	
旅交通費	573,648		348,949		922,597	
自動車諸費	1,748,605		101,400		1,850,005	
水道光熱費	44,994,238		10,847,717		55,841,955	
接待交際費	121,136		0		121,136	
守管理費	11,376,278		2,184,648		13,560,926	
清掃繕費	3,491,296		2,169,443		5,660,739	
園芸費	59,820,232		8,446,918		68,267,150	
公租公費	4,878,994		626,770		5,505,764	
公損料	301,464		1,050		302,514	
害保險	11,735,858		1,117,175		12,853,033	
支払手数料	2,537,541		138,462		2,676,003	
雑費	22,100		0		22,100	
補助活動支出	2,188,805	0.1	233,496	0.1	2,422,301	0.1
課税事業支出	1,495,003		8,473		1,503,476	
非課税事業支出	693,802		225,023		918,825	
行事支出	0		0		0	
納骨堂等管理支出	2,767,342	0.1	19,305	0.0	2,786,647	0.1
納骨堂等管理支出	2,767,342		19,305		2,786,647	
雑損失	0	0.0	946	0.0	946	0.0
課税雑損失	0		0		0	
非課税雑損失	0		946		946	
財務支出の部	664,685,697	29.2	57,958,995	20.6	722,644,692	28.3
固定資産支出	605,150,324	26.6	57,577,174	37.0	662,727,498	25.9
建物付属設備購入支出	134,267,904		0		134,267,904	
構築物購入支出	54,173,786		0		54,173,786	
祭儀備品購入支出	62,150		4,024,000		4,086,150	
器具備品購入支出	10,770,203		0		10,770,203	
車両購入支出	0		0		0	
電話加入権取得支出	0		0		0	
墓地使用権取得支出	0		0		0	
繰延資産取得支出	0		0		0	
特別目的預金積立支出	101,876,281		53,553,174		155,429,455	
本部預け金支出	304,000,000		0		304,000,000	
固定負債支出	11,000,000	0.5	0	0.0	11,000,000	0.4
長期借入金返済支出	11,000,000		0		11,000,000	
その他の財務支出	53,970,922	2.4	1,043,271	0.4	55,014,193	2.2
立替金支出	579,683		13,860		593,543	
仮払金支出	47,188,721		621,083		47,809,804	
短期借入金返済支出	0		0		0	
未払金支出	4,029,046		272,803		4,301,849	
預り金支出	1,659,587		135,525		1,795,112	
仮受金返還支出	513,885		0		513,885	
資金調整勘定	-5,435,549	-0.2	-661,450	-0.2	-6,096,999	-0.2
前期末前払金	0		0		0	
期末未払金	-5,435,549		-661,450		-6,096,999	
支出計	1,410,093,147	62.0	155,575,966	55.3	1,565,669,113	61.3
次期繰越金	863,621,491	38.0	125,936,850	44.7	989,558,341	38.7
支出の部合計	2,273,714,638	100.0	281,512,816	100.0	2,555,227,454	100.0

大 阪 大 司 教 区
2021年度
教区本部会計収支計算書

〔収 入 の 部〕 単位：円 (自2021年4月1日 至2022年3月31日)

科 目	教区本部会計	(%)	一粒会会計	(%)
経 常 収 入 の 部	742,055,266	18.4	31,137,514	26.9
納付金収入	231,436,980	5.7	0	0.0
教 区 納 付 金 (A)	34,964,000		0	
教 区 納 付 金 (B)	156,105,000		0	
教 区 納 付 金 (C)	24,806,740		0	
教 区 納 付 金 (D)	15,561,240		0	
小教区分担金	257,945,828	6.4	0	0.0
小教区分担金(建設費用教区立替分)	257,945,828		0	
特定献金収入	24,500,925	0.6	0	0.0
世界こども助け合いの日献金	4,015,280		0	
聖地のための献金	1,116,275		0	
四旬節愛の献金	4,881,554		0	
世界広報の日献金	407,791		0	
聖ベトロ使徒座への献金	1,843,010		0	
世界難民移住移動者の日献金	812,616		0	
世界宣教の日献金	1,814,767		0	
宣教地召命促進の日献金	1,789,647		0	
新教会建設献金	962,968		0	
カンボジア教会の日献金	1,598,076		0	
すべてのいのちを守る献金	5,258,941		0	
一粒会献金収入	0	0.0	31,128,703	26.9
一粒会 献 金	0		31,128,703	
特別献金収入	15,516,884	0.4	0	0.0
祭 式 献 金	700,000		0	
特 別 献 金	1,000,000		0	
一 般 特 別 献 金	4,993,360		0	
一 般 献 金	8,823,524		0	
諸委員会活動費	40,101,297	1.0	0	0.0
教区宣教司牧評議会運営委員会	0		0	
広 報 委 員 会	5,167,338		0	
典 礼 委 員 会	0		0	
列 聖 推 進 委 員 会	0		0	
使 徒 職 養 成 委 員 会	0		0	
教 育 推 進 委 員 会	150,000		0	
諸 宗 教 対 話 委 員 会	0		0	
青 少 年 司 牧 委 員 会	19,710		0	
シ ナ ビ	20,571,059		0	
社 会 活 動 神 戸 セ ン タ ー	4,285,209		0	
社 会 福 音 化 推 進 委 員 会	0		0	
災 害 対 策 委 員 会	0		0	
障 が い 者 委 員 会	0		0	
SH 対 応 委 員 会	0		0	
サ ク ラ フ ァ ミ リ ア	230,024		0	
高 砂 働 く 人 の 家	38,834		0	
大阪管区部落差別人権活動センター	1,349,468		0	
望 洋 庵	7,268,316		0	
他 委 員 会 活 動 費	0		0	
エ キ ュ メ ニ ズ ム 委 員 会	10,000		0	
国 内 移 動 者 委 員 会	0		0	
新 福 音 化 委 員 会	0		0	
大 船 渡 ベ ー ス	1,011,339		0	
納骨堂等収入	24,840,830	0.6	0	0.0
非課税永代使用料収入	13,270,500		0	
課税永代使用料収入	6,649,500		0	
管 理 料 収 入	4,898,830		0	
そ の 他 納 骨 堂 収 入	22,000		0	
雑 収 入	147,369,499	3.7	2,700	0.0
課 税 雑 収 入	911,230		0	
非 課 税 雑 収 入	146,458,269		2,700	
事業収入	343,023	0.0	6,111	0.0
受 取 利 息 配 当 金	343,023		6,111	
施 設 利 用 料	0		0	
財 務 収 入 の 部	2,532,614,783	62.8	9,035,210	7.8
固定資産収入	54,057,558	1.3	3,566,200	3.1
保 証 金 償 還 収 入	142,000		0	
器 具 備 品 売 却 収 入	0		0	
車 両 売 却 収 入	35,480		0	
奨 学 金 返 還 収 入	0		0	
特 別 目 的 預 金 取 崩 収 入	53,880,078		3,566,200	
預 託 金 取 収 入	0		0	
その他の財務収入	655,049,153	16.2	1,748,465	1.5
未 収 入 金 収 入	3,495,504		1,080,034	
立 替 金 回 収 収 入	45,523,997		0	
損 害 保 険 料 立 替 回 収 収 入	30,940		0	
立 替 消 費 税 回 収 収 入	3,170,600		0	
仮 払 金 回 収 収 入	125,022,152		0	
預 り 金 収 入	111,366,317		1,021	
小 教 区 預 り 金 収 入	306,282,399		0	
小 短 期 貸 付 金 回 収 収 入	0		0	
仮 受 金 収 入	60,847,324		667,410	
前 受 金 収 入	-690,080		0	
内部取引勘定収入	1,828,108,211	45.3	5,478,805	4.7
一 粒 会 勘 定 収 入	5,587,284		0	
仁 豊 野 ヴ ィ ラ 勘 定 収 入	55,817,254		0	
教 区 本 部 勘 定 収 入	0		5,478,805	
事 業 部 本 部 勘 定 収 入	32,758,361		0	
基 本 金 勘 定 収 入	1,733,945,312		0	
資金調整勘定	-4,600,139	-0.1	-1,758,260	-1.5
前 期 末 前 受 金 (-)	0		0	
期 末 未 収 入 金 (-)	-4,600,139		-1,758,260	
収 入 計	3,274,670,049	81.1	40,172,724	34.8
前 期 繰 越 金	760,729,529	18.9	75,420,231	65.2
収 入 の 部 合 計	4,035,399,578	100.0	115,592,955	100.0

科 目	教区本部会計	(%)	一粒会会計	(%)
経 常 支 出 の 部	914,444,661	22.7	25,976,555	22.5
祭儀費	3,014,086	0.1	0	0.0
祭 儀 費	3,014,086		0	
諸委員会活動費	52,150,710	1.3	0	0.0
教区宣教司牧評議会運営委員会	6,820		0	
広 報 委 員 会	5,747,003		0	
典 礼 委 員 会	83,540		0	
列 聖 推 進 委 員 会	154,910		0	
使 徒 職 養 成 委 員 会	42,940		0	
教 育 推 進 委 員 会	302,209		0	
諸 宗 教 対 話 委 員 会	327,114		0	
青 少 年 司 牧 委 員 会	0		0	
シ ナ ビ	14,647,088		0	

科 目	教区本部会計	(%)	一粒会会計	(%)
社会活動神戸センター	4,625,263		0	
社会福音化推進委員会	0		0	
災害対策委員会	0		0	
障がい者委員会	140,320		0	
SH対応委員会	43,237		0	
サクラファミリア	608,833		0	
高砂働く人の家	453,585		0	
大阪管区部落差別人権活動センター	2,270,297		0	
望 洋 庵	6,608,390		0	
他 委 員 会 活 動 費	312,769		0	
エ キ ュ メ ニ ズ ム 委 員 会	34,388		0	
国 内 移 動 者 委 員 会	0		0	
新 福 音 化 委 員 会	0		0	
大 船 渡 ベ ー ス	15,742,004		0	
宣教活動費	6,001,151	0.1	0	0.0
中 央 協 議 会 分 担 金	2,760,000		0	
広 報 活 動 費	46,300		0	
教 区 行 事 費	2,442,794		0	
研 究 費	425,157		0	
調 査 研 究 費	0		0	
資 料 図 書 費	186,400		0	
行 政 費	0		0	
諸 会 費	140,500		0	
助成金支出	335,034,459	8.3	0	0.0
小 教 区 助 成 金	255,068,369		0	
修 道 会 助 成 金	79,966,090		0	
援助事業費	31,243,890	0.8	0	0.0
大 阪 教 区 援 助 事 業 費	7,427,722		0	
教 皇 庁 援 助 事 業 費	13,274,747		0	
教 皇 庁 事 業 献 金	3,398,830		0	
中 央 協 議 会 援 助 事 業 費	7,142,591		0	
人件費小教区	153,181,643	3.8	0	0.0
本 俸 ・ 諸 手 当	137,508,490		0	
通 勤 手 当	0		0	
法 定 福 利 費	15,673,153		0	
退 職 共 済 掛 金	0		0	
退 職 共 済 掛 金	0		0	
人件費教区事務局等	151,350,756	3.8	0	0.0
本 俸 ・ 諸 手 当	127,252,281		0	
通 勤 手 当	3,594,320		0	
法 定 福 利 費	18,584,155		0	
退 職 共 済 掛 金	1,920,000		0	
退 職 共 済 掛 金	0		0	
雑 給	0		0	
養成費	0	0.0	25,596,366	22.1
祭 儀 費	0		128,183	
教 育 費	0		3,798,997	
海 外 研 修 費	0		0	
運 営 分 事 業 費	0		12,730,000	
行 命 促 進 費	0		0	
召 命 促 進 費	0		0	
旅 費 議 決 費	0		0	
養 成 援 助 費	0		215,040	
宣 教 司 牧 費	2,720,507	0.1	8,724,146	
資 料 図 書 費	208,496		0	
会 議 費	2,491,211		0	
諸 会 費	20,800		0	
運営管理費	178,192,591	4.4	380,189	0.3
福 事 利 厚 生 費	21,243,494		0	
リ 務 印 刷 費	2,633,887		0	
消 一 ス 料	9,652,333		0	
通 耗 信 品 費	3,110,175		31,340	
旅 費 交 通 費	5,787,426		66,660	
自 費 交 通 費	1,366,119		0	
水 動 車 諸 費	3,967,255		0	
園 道 光 熱 費	6,562,977		0	
接 待 交 際 費	0		0	
保 守 交 際 費	247,934		0	
修 繕 管 繕 費	14,273,687		42,075	
公 租 公 課	85,900,001		0	
損 害 保 險 料	3,538,920		0	
支 払 保 手 借 料	6,599,870		109,880	
雑 報 酬 手 数 費	1,380,566		130,234	
報 酬 手 数 費	4,708,829		0	
報 酬 手 数 費	1,857,901		0	
報 酬 手 数 費	5,361,217		0	
雑損失	1,554,868	0.0	0	0.0
課 税 雑 損 失	0		0	
非 課 税 雑 損 失	1,554,868		0	
財 務 支 出 の 部	2,320,016,645	57.5	5,736,905	5.0
固定資産支出	8,812,877	0.2	0	0.0
建 物 付 属 設 備 購 入 支 出	1,198,217		0	
構 築 物 購 入 支 出	3,333,000		0	
儀 備 品 購 入 支 出	0		0	
器 具 備 品 購 入 支 出	506,034		0	
車 両 購 入 支 出	0		0	
ソ フ ト ウ ェ ア 購 入 支 出	0		0	
建 設 仮 勘 定 支 出	-217,558,000		0	
預 託 金 支 出	0		0	
保 証 金 差 入 支 出	0		0	
電 話 加 入 権 取 得 支 出	0		0	
奨 学 金 支 払 支 出	0		0	
特 別 目 的 預 金 積 立 支 出	0		0	
その他の財務支出	221,333,626		0	
立 替 金 支 出	670,093,682	16.6	149,621	0.1
立 替 金 支 出	45,596,495		0	
損 害 保 険 料 立 替 支 出	30,940		0	
立 替 消 費 税 支 出	3,049,000		0	
仮 払 金 支 出	129,795,609		0	
前 払 金 支 出	0		0	
未 払 金 支 出	3,624,435		0	
仮 受 金 返 還 支 出	60,555,934		148,600	
預 り 金 支 出	192,158,870		1,021	
小 教 区 預 り 金 返 還 支 出	235,282,399		0	
内部取引勘定支出	1,681,553,486	41.7	5,587,284	4.8
一 粒 会 勘 定 支 出	5,478,805		0	
仁 豊 野 ヴ ィ ラ 勘 定 支 出	55,817,254		0	
教 区 本 部 勘 定 支 出	0		5,587,284	
事 業 部 本 部 勘 定 支 出	32,758,361		0	
基 本 金 勘 定 支 出	1,587,499,066		0	
資金調整勘定	-40,443,400	-1.0	0	0.0
前 期 末 前 払 金	0		0	
期 末 未 払 金	-40,443,400		0	
支 出 計	3,234,461,306	80.2	31,713,460	27.4
次 期 繰 越 金	800,938,272	19.8	83,879,495	72.6
支 出 の 部 合 計	4,035,399,578	100.0	115,592,955	100.0



ヨハネ 1・46

※詳細は各主催者へ直接お問い合わせください。

教 区 委 員 会 主 催

信仰養成連続講座◆カテキ
ズムの第3編:使徒職

日時 7/28(木)18:30~20:00
講師 酒井俊弘補佐司教
場所 サクラ ファミリア
/YouTube配信あり
問 ☎06-6941-9700
主催 使徒職養成委員会

結 婚 準 備 講 座

夙川教会

日時 次回9/4~9/25(日)
4回14:00~15:30
参加費 ¥5,000(2名)
問 ☎0798-22-1649

六甲教会

日時 次回2023年2/4
~3/25(土)8回
17:30~19:00
参加費 ¥10,000(2名)
問 ☎078-851-2846
※事前要問合せ(年2回)

黙 想 会

宝塚黙想の家

◆奉獻生活者のための黙想
日時 7/19(火)17:00~
7/26(火)朝食後
指導 稲葉善章神父

参加費 ¥68,000

◆日帰り黙想会

日時 7/12(火)・7/28(木)
・7/29(金)10:00~15:30
指導 稲葉善章神父(7/12)
染野治雄神父(7/28)
山内十束神父(7/29)
参加費 ¥3,500

◆一泊黙想会

日時 7/12(火)17:00~7/13(水)15:30
指導 稲葉善章神父
参加費 ¥9,000

◆週末黙想会

日時 7/22(金)17:00~7/23(土)15:30
7/29(金)17:00~7/30(土)15:30
指導 染野治雄神父(7/22~23)
山内十束神父(7/29~30)
参加費 ¥9,000

◆聖地エルサレムを学ぶ

日時 第3(木)10:00~12:00
指導 笹田六合豊修道士
参加費 ¥1,000

◆ギリシャ語で味わう聖書のことば

日時 第1(火)10:00~12:00
指導 稲葉善章神父
参加費 ¥1,000

◆祈りを深めるための聖書の基本

日時 第1・第3(水)10:00~12:00
指導 山内十束神父
参加費 ¥1,000

問 宝塚黙想の家 ☎0797-84-3111

講 座 ・ 研 修 会

講座 本田哲郎神父◆小さ
くされた人々のための福音

日時 毎月第3(金)10:00
場所 神戸市勤労会館 404号室
参加費 ¥1,000
問 岩村 ☎070-5045-7127
主催 神戸国際支縁機構

コレーン神父と学ぶ聖書
◆ルカ福音書を共に読む

~C年ルカ福音書への導入~
日時 第2(月)13:30~15:00
(4~12月開講)
場所 サクラ ファミリア
参加費 ¥500
申込 サクラ ファミリア
問 ☎06-6225-8871
☒f.sacra@osaka.catholic.jp

聖書講座 和田幹男神父
◆聖書研究講座・ヨハネ福音
書の序文(ヨハネ1:1-18)

◆新約聖書ギリシア語購読
(ロマ書第7章)

◆旧約聖書ヘブライ語購読
(創世記第22章)

※7月はいずれもお休み

場所 サクラ ファミリア
問 ☎06-6225-8871

集 い

シナピス主催◆オンライン
祈りの集い~世界平和のた
めに祈ろう~

日時 毎月第2木曜日
20:30から30分
テーマ みことばから
平和を考える
参加方法 Zoom
(100名まで参加可能)

Zoomミーティング
ID:761 071 2034
パスコード:123456
主催 社会活動センター・
シナピス
問 ☎06-6942-1784
☎06-6920-2203
☒sinapis@osaka.catholic.jp
☒https://sinapis.osaka.
catholic.jp/

大阪JOC◆働き方や生き方
について現状から共に考える

15~35歳までの若者の集い
日時 第4(土)14:00~16:00
場所 大阪YCWセンター
(またはZoom)
問 レネ神父・水元
☎072-232-8063
☒osakaycw@gmail.com
☒http://www.ycw.jp/

要約筆記グループ“エッ
ファタ!”練習会◆教区ミサ
に要約筆記(文字表示)をつ
けるボランティア

対象 要約筆記に関心のある方。
フリーソフトcaptiOnline
を使いパソコンまたはス
マホで練習します。
日時 毎月第2(水)13:00~15:00
場所 教区本部事務局1階会議室
問 障がい者委員会
☒dis@osaka.catholic.jp
主催 要約筆記グループ
“エッフアタ!”

精神・発達症(障害)者自助
グループ◆オリーブの集い
日時 第3(日)14:00~16:00
場所 姫里集会所
申込 吉川まで
問 ☎☎078-583-2525

力障連大阪フレンドリー
◆点字部の勉強会

対象 パソコン点訳に関心のある方、視覚障がい者の情
報共有に関心のある方
日時 奇数月・第2(火)13:30~15:00
場所 姫里集会所
申込 笠松まで
問 ☎090-5661-4324
☎072-722-0271
☒kasamatsu-yukisan
@iris.eonet.ne.jp

INTERNATIONAL
DAY 2022

(旧国際協力の日)
— 開催決定 —

「外国人が暮らしやすい社会
は日本人にも暮らしやすい」
2022年10月16日(日) ミサ11時
大阪カテドラル聖マリア大聖堂
ミサ後、駐車場で交流会
(※詳細は追ってお知らせします。)

【お 知 ら せ】

正義と平和大阪大会で開催
した分科会の録画の一部を公
開します。教区ウェブサイトの
正義と平和大阪大会のペー
ジをご覧ください。

情報の掲載には申し込みが必要です

- 掲載無料
- 申し込みは、掲載希望月2カ月前の末日まで(厳守)
- 下記連絡先までご連絡ください。記入用紙をお送りします
- 掲載の継続をご希望の場合はお知らせください
- 締切日を過ぎての申し込みや教区報にふさわしくないと判断されたものは掲載できません
- スペースの関係上、掲載できない場合はご連絡します
- 編集(加筆・修正)させていただくこともございます

【連 絡 先】 〒540-0004 大阪市中央区玉造2-24-22
カトリック大阪大司教区広報委員会
☎06-6946-3223(直) ☎06-6946-3224(直)
☒jiho@osaka.catholic.jp

司 教 予 定

- ・7/3(日) 大分教区司教叙階式
(前田万葉大司教・酒井俊弘補佐司教)
- ・7/7(木)~10(日) 北海道巡礼(酒井俊弘補佐司教)
- ・7/10(日) 池田教会堅信式(前田万葉大司教)
- ・7/17(日) 甲子園教会 追加堅信式(酒井俊弘補佐司教)
- ・7/24(日) 和歌山紀北教会訪問(前田万葉大司教)
夙川教会 追加堅信式(酒井俊弘補佐司教)

使徒職養成委員会 学習会
「カテキズムから読み解く
わたしたちの教会」
7/2(土) 14:00 - 16:00
サクラ ファミリア
講師 酒井俊弘司教

パンデミックや戦争に
よって翻弄される世界の中で
シノドスの精神
(交わり・参加・宣教)を
どう生きていくべきか

申込不要・無料・YouTube 配信あり

行 事 等 日 程			
7 月		27 水	10時半 教 区 月 修
1 金	8 月		
	主の変容		
	福者ペトロ岐部司祭と 187殉教者	6 土	日本カトリック平和旬間 (~15日迄)
	10時 顧 問 会		
7 木	〔常任司教委員会〕	7 日	カンボジア教会の日の献金
13 水	10時半 第194回 司祭評議会	9 火	教区教員養成会 (~10日迄)
19 火	〔臨時司教総会〕(~22日迄)		
24 日	祖父母と高齢者のための 世界祈願日	15 月	聖母の被昇天 (教区本部事務局 休業)

ひとりで悩まないで
~私たちに聴かせてください~
カトリック大阪大司教区
セクシュアル・ハラスメント
相談窓口
電話番号:06-6941-9718
相談窓口受付時間
月・火・金曜日(祝日を除く)
午前10時~午後4時
あなたの悩みを親身になって受け止めます。
秘密は守られます。

編 集 後 記

ブラジル滞在中、ゴシッ
プに近いカトリック教会関
係のニュースを、見聞きし
ました。ある日、新聞に、
大きな修道会のある管区で、
会計担当の司祭が金庫から
すべてのお金を持ち出し、
失踪してしまったとありま
した。その管区は倒産しま
した。▼昨今では、欧米で、
児童虐待被害者への賠償金
の支払いのために、経済破
綻した教区がいくつもある
と聞きます。▼しかし、他
人事ではありません。コロ
ナ禍で大阪教区でも、維持
費や献金がかなり減少しま
した。財政的に危機にある
わけではありませんが、
いつまでもあると思うな
親と金」という言葉が転じ
て、「いつまでもあると思
うな教区と教会」になりま
せんように。
(広報委員会 川邨裕明)